

(2) その他の特長ある取り組みの概要

1. 教育力向上の取り組みの概要

本学は、平成28年度から学科名称をビジネスデザイン学科に変更した。経営情報学部では、1年次に情報関係の基礎科目の充実を図るとともに、大学生として必要な教養・日本語リテラシー・英語リテラシーの教育を行う。また、2年次以降では、平成31年度から地域デザインコースを新たに加え、ビジネスマネジメントコース、グローバルコミュニケーションコース、メディアデザインコース、情報デザインコースの5つのコースを設け、3年間かけて専門の力が身に付くカリキュラムデザインとなっている。さらに、教養科目を3年次以降も履修できる体制をとっている。育成する人材像としては、人間関係形成能力と情報技術活用能力を習得することに加え、社会の基本要素の1つである経済に関する知識と経営力を備え、社会生活の中でより効果的に情報活用のできる能力を培い、社会の発展に貢献できる者としている。

従前（平成26年度）からセメスター制の導入、留学生向けカリキュラムの設置等に対応してきたが、令和2年度から各学年のカリキュラムを再構築し、学生にとって学びやすく、教員が学生の指導を充分に行えるようにするため、以下のとおり変更した。

- (1) 基礎ゼミ（1・2年次）の導入
- (2) 実践科目A・Bの選択科目化と進路支援科目群の選択必修の弾力化
- (3) 進路支援科目群・キャリア形成科目の新規科目設定

これらの変更により、1・2年次学生に対し少人数グループによる指導の充実を図り、公務員希望の学生を含めた幅広いキャリア支援の科目が提供されることとなった。また従来通り、学生の基礎学力の底上げの一環として、学習支援センターにおいて、英語や数学の補習及び日本語リテラシーの修得を基礎とした補習授業を担当教員指導の下で行っている。

導入教育、初年次教育の明確化・充実を目的として、入学前教育の実施方法並びに担当部署を変更し、改善した。学習支援センターの充実と合わせて、基礎学力指導の充実を重要視している。

- (1) 入学前教育を行い、友達を作るきっかけづくりのワークショップと講義の受け方、基礎学力検査を行った。
- (2) 英語・日本語・数学の基礎的な知識の確認問題は事前に配布し、入学前教育までの課題とした。
- (3) 業者の入学前教育の添削指導の案内を入学予定者に送り、自由受講とした。受講者の、受講前と受講後の成績の伸びも報告された。

学生の学修評価は、S・A・B・C・Fの表記とし、GPA制度を導入している。また、科目のナンバリングを導入し、成績評価の基準および学生の予習復習時間、達成目標は各授業のシラバスに明記している。毎学期、「授業改善のためのアンケート」を行い、学生からの授業に関する意見を聞き、授業改善に努めている。全体評価はウェブサイトで公表している。各教員は、「授業改善のためのアンケート」に基づき、授業改善のレポートを提出することになっている。また、教務委員会内にカリキュラム担当者・教養教育担当者を設け、より良い授業、教養教育のシステムについて常に点検する体制を取っている。

本学は、平成18年度に文部科学省の現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代GP）に採択された「つくば市をキャンパスにした社会力育成教育」という特色ある教育プログラムを有し、OCP（オフ・キャンパス・プログラム）と称し今年15年目を迎えた。このプログラムについては令和2年度から組織体制やカリキュラムを含めた見直しを行っている。具体的には実践科目A・Bを1・2年次の必修科目から外すことで、他のキャリア形成科目の中から主体的に選択した学生に対して教育サービスを提供する変更となった。またOCP委員会を地域連携センターに吸収し、より広い視点でつくば市を含めた近隣地域との連携を行えるよう組織改正を行った。これらの変更により、社会参画や多文化共生への意識の高い学生へのサービス・ラーニングをより深化させることになった。